

国際ロータリー第2530地区東北第一分區

福島南ロータリークラブ

事務局/〒960-8151 福島市大字寺崎町5-2 ギャロウ・メイフアイビル2F
 TEL:024-548-3793 FAX:024-548-7878
 仙台南/サンパレス福島 〒960-8101 福島市上町4-30
 TEL:024-629-3811(FAX) FAX:024-629-0375
 Eメール http://www.nskn.jp/~southrotary/index.html

会長 黒羽好夫 副会長 藤橋 進一
 会務部長 金子 義明 幹事部長 本光一 広報部長 長尾 丹治 青年 丹治 洋子 副委員長

2010年-2011年Rテーマ

第17回例会 平成22年11月10日(水) サンパレス福島
 ■メークアップ/27名 ■修正/67名 ■修正率/100% ■会員/67名 ■出席/40名 ■出席率/59.70%

本日のプログラム	
1 開会点鐘	7 米山奨学生 奨学金授与
2 国家斉唱	8 誕生日のお祝い
3 ロータリーソング 奉仕の理想	9 地区大会表彰の授与
4 四つのテスト	10 会員スピーチ・プロジェクト R (私は業界のプロとして)
5 来訪者紹介と会長あいさつ	11 各委員会報告
6 ロータリーの友、読みどころ	12 閉会点鐘

今月・来月のプログラム	
11月18日(木) 東北第一分區ガバナー慰労会	12月1日(水) ガバナー補佐クラブ訪問・誕生祝い
11月24日(水) ゲストスピーチ	12月8日(水) クラブ年次総会
	12月15日(水) 会員スピーチ IAC例会日

◆会長挨拶◆

黒羽 好夫 会長
 「ロータリーの原点に帰ろう！」



10月6日の例会以来、1ヶ月ぶりに サンパレスに帰ってきました。懐かしい感じがいたします。行事のご報告から申し上げますと、11月7日の日曜日は 10月31日から延期になりましたリトルリーグ大声杯が 好天の下、あづま球場で開催されました。日程変更のため、2チームが参加できなくなりましたが 4チームで熱戦が行われまして、子供たちは元気いっぱい、大きな声を出してプレーしており、たいへんな盛り上がりでございました。会員の皆様にも、たくさん、応援に来ていただきましてありがとうございました。決勝戦の福島リーグ対白河リーグの試合では、1点リードされた後に 鈴木恒昭バスト会長のお孫さんが 同点打を打ちまして 勝利に貢献されました。そして、福島リーグが見事に優勝いたしました。子供たちは 規律正しく、マナーも素晴らしく、いつも元気はつらつと大きな声でプレーする姿に感動いたしました。また、本日は例会前に 秋の防火週間にちなみ、駅前通りを白百合幼稚園の子供たちと一緒に 防火

予防パンフレットを配布しながらパレードしてまいりました。防火予防週間にちなみ、防火予防ポスターコンクールに当クラブも協賛の上、福島南クラブ賞を出しましたが、入賞作品が駅前のこむこむに15日まで展示されておりますので、近くを通った際にご覧下さい。今年は現在までで火災発生件数が82件と、昨年よりも17件少なくなっているようです。11月は ロータリー財団月間です。皆様から例会の際に頂いている財団への基金が ポリオの撲滅や財団奨学生への補助、その他、地区補助金として 奉仕活動のために使われております。財団活動にご理解の上、寄金を宜しく願っています。24日の例会には、ゲストスピーカーとして地区補助金委員会の小針委員長をお願いしておりますので、たくさんのご参加をお願いいたします。

◆ロータリーの友、読みどころ◆



松崎 弘昭 雑誌委員長
 今後のロータリー内部の補助金システム変更に伴い、オンラインでの申請となることによって、財団委員会等に関連があることや、情報管理や SNS メディア利用などについて、情報の利用と危機管理についての記事をご紹介頂きました。また、温暖化の影響から秋刀魚の不漁が20年前にも

あったという記事から、自然保護や環境問題などについて紹介がありました。

◆誕生日のお祝い◆

伊藤 紘一 親睦委員



◎三浦善治会員「おかげさまで 81歳の誕生日を迎えることができました。老人は過去に生きるというわけていますが、私は、残された人生を赤子のように無垢に行きたいと思っております。」◎菅原節子会員「毎年、三浦先生の後援をさせて頂いています。三浦先生を目標に、頑張っていきます。」

◆会員スピーチ◆



藤橋 進一郎 会員
 入会9年目にしてお話をする機会を戴き有難うございます。会員の中で、ただ一人の鉄工業者として、創業明治18年以來、125年目を迎え、紆余曲折これまでに至った会社の動向を当時の写真をご紹介します説明します。

私は、「時代の変遷と共に何が起るか分からない」ということと、時代背景を確実に捉え企業が生き残るには、社会構造の変化に対応していけるか過去の栄光にとらわれる事無く足元を見つめる事が出来るかどうか？今までの教訓としてその流れについて、お話したいと思います。当社は、安積郡日和田村出身の藤橋大三郎が、初代として、鍋釜の製作から興し、水車の蛇腹等の鑄造・木工・機会組立・ボイラーなどに着手をしました。2代目藤橋太郎は、ドイツ・イギリス・フランスから旋盤・ボール盤・歯切り盤等を輸入して、織機諸機械の製造に着手しました。当時、産業革命によって、様々な機会が発明され、その機会に目を付けて、海外より輸入をしたという経緯があります。2代目の子どもたち兄弟5人は、米沢や鶴岡、川口や日立などの各地で藤橋鉄工所を創設しました。3代目であった長男藤橋樹三郎は24歳にして父を亡くし、合資会社藤橋ポンプ製作所に社名変更し、腕用ポンプからT型フォードのシャシーを輸入し機装して消防ポンプ車の製造を行い東北六県に納入しました。その後、第二次世界大戦が勃発し、3代目の父は兵営にとられ、終戦後は、家を守る弟に50名いた従業員とポンプ製作所を明け渡して、たった2人で藤橋歯車を立ち上げました。昭和43年には、曾根田町の道路拡幅のために現在地に移転をしたと同時に、私が学校を卒業して福島市に戻り、家業を継ぎました。それから40年間やって、生き抜いてきました。4代目として期待されながらも、会社を存続して行く守りの姿勢から、なかなか脱却できなまま今日に至っているわけですが、確実に時代の進展は早く、工作機械の進歩には目を見張るものがあり、半導体の進化は世の中のシステムを変え、便利さが故に人間性までも失いかけてい

状況の中で、世界や国の動向が一変してしまいそのような環境に陥っているような気がしております。

私は今、厳しい業界の中で、今まで日本人の持つ感性と技術立国日本として地域社会の中で、後世に時代は変わろうとも五感で感じる物づくりと世界に誇れる技術の継承を、組合や地域社会を通して、取り組んで行きたいと考えております。



ロータリーの歯車は、噛み合って回らないものです。残念ながら。ガバナーとクラブへ、歯車を作ってきました。インポリュート歯車という、この曲線によって、歯車が回るのです。この歯車を、贈呈を致します。

◆米山奨学生 奨学金授与◆



植木 洋司 米山奨学会委員長
 植木洋司米山奨学会委員長より、唐娜拉さんへ奨学金の授与がなされました。

◆ガバナー事務局職員の退任挨拶◆



宍戸 清和 地区幹事
 ◎小川 聡美さん「3ヶ月半と短い期間ではありましたが、皆様に暖かくご指導を頂き、大変、勉強になりました。ここで出会うことが出来たのも、ご縁ですので、今後とも、よろしくお願い致します。」



◎渡邊 利依さん「ガバナーエレクト時代から、10か月間勤めさせて頂きました。皆さんからの温かいご指導に感謝いたします。ありがとうございました。」

◆スマイリングボックス◆

◎1か月ぶりのサンパレス例会です。黒羽好夫会長◎防火パレード良かったですよ。高橋 勇雄会員◎皆様の応援のおかげで大声杯福島リトルが優勝しました。 富田 健三郎会員◎久しぶりに例会に出られます。 林 克重会員◎藤橋さんのスピーチに感謝 廣澤 俊樹会員◎大変ご心配をお掛け致しましたが、無事退院することが出来ました。ご迷惑をお掛け致しました事お詫び申し上げます。 福田 順一会員◎地区大会では大変お世話になりました。18日の大橋ガバナー慰労会は所要のため出席できませんので、本日も伺いました。福島西RC 河野 坦司会員
スマイル 50,000円 累計 633,701円
財団・米山 41,000円 累計 656,000円
～私の職業の目的～ 菅野 良二 会員
 地域社会からは是非とも必要とされる企業を目指す。
―編集後記―
 身体には、くれぐれも気をつけましょう！（丹治ト）